

## 神戸交通労働組合との交渉議事録

1. 日 時：令和7年7月10日（木）17時30分～17時36分
2. 場 所：御崎Uビル1階 大会議室
3. 出席者：(当局) 副局長、副局長、高速鉄道部長、業務改革担当課長  
(組合) 執行委員長、副執行委員長、書記長、自動車部長、高速鉄道部長
4. 議事要旨：別紙のとおり

## 【組合】

「労働条件・職場環境の改善、予算確保に関する要請書」に基づいて説明

## 【当局】

平素より、神戸交通労働組合の皆様方には、交通事業の運営について、ご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、市民生活に不可欠である「市民の足」として、日々、市バス・地下鉄の運行を安全・安心に毎日継続して行っているところであり、現場の皆様のご尽力に、この場をお借りして感謝申し上げます。

ただいま、「労働条件・職場環境の改善、予算確保に関する要請書」をいただきました。

皆様もご承知のとおり、交通局を取り巻く状況は、昨今の物価高や委託料の増額などによる費用増に加え、人口減少による将来需要の減少など、厳しさを増しております。

令和6年度の見込とコロナ前の平成30年度の乗車人員を比較すると、市バスでは高校生通学定期無償化による影響で一部好転したものの約14.5%の減、高速鉄道では約1.8%の減となっているが、北神線市営化による純増分の影響を差し引きますとコロナ前の水準には戻っていない状況となっており、引き続き危機感を持って臨む必要があります。

このような状況の中、将来にわたり持続可能な経営を実現するため、「経営計画2025」の着実な遂行はもちろんのこと、令和6年度の予算編成時に策定した「安全対策及びサービス充実」、「徹底した経費削減策及びあらゆる資産を活用した増収策」、「運賃改定及び割引制度の見直し」、「情報発信及び地域の共同」の4本柱による「経営基盤強化パッケージ」についても、局をあげて引き続き全力で取り組んでいく必要があると考えております。

さらに、令和6年度に神戸市の基本構想が約30年ぶりに策定され、令和7年度には「神戸市基本計画」や「神戸市地域公共交通計画」が策定されることを踏まえ、交通局においても市が目指す将来ビジョン実現の一翼を担うため、令和8年度以降の次期経営計画を策定していく必要があります。

また、安定的な事業継続を実現していくうえで、「組織風土改革」と「人材戦略」は非常に重要であることから、職員一人ひとりが前向きに挑戦できる職場づくり、職員の皆さんが安心して働ける、そして風通しの良い職場環境づくりを目指した「交通局 人事・給与制度改革」の取り組みを引き続き進めたいと考えております。

いずれにいたしましても、本日は、賃金・労働条件の改善に関するご要求をいただいたところでありますので、持ち帰り検討したうえで、改めてお話しさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。